

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都小金井市貫井北町 3-30-6
園名	小金井市立さくら保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

土、木のある園庭で五感を使ってあそぼう！知ろう！

<テーマの設定理由>

日頃から園庭でどろんこあそびをしたり、季節の野菜を育てたり、虫捕りをしたり、自然に触れて遊ぶ姿が見られることから、子どもの興味関心があると判断した。
「五感」を使って自然物やその現象について深めたい。

2. 活動スケジュール

10月 野菜の種まき
11月 ウッドフェンスづくり
12月 親子でウッドフェンスづくり
12月 野菜の収穫（にんじん、かぶ）
3月 築山づくり
3月 親子で築山づくり

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【素材・道具】

ウッドフェンス・丸太・土・一輪車・バケツ・スコップ・ふるい・熊手・野菜の種等。

【環境設定】

- ・園庭にどろんこ遊びができる場所を設定。
- ・木や土、野菜などに触れたり、においをかいでみたり、食べてみたりすることで五感を使った活動ができるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ウッドフェンスづくり

- ・ウッドフェンスを組み立てる中で、木に触れたりにおいを感じたりすることで、木の性質について知る。
- ・ウッドフェンスを使い、ごっこあそびなどで遊ぶ。

野菜の種まき、収穫

- ・野菜の種をまき、水やりを行う。
- ・生長の過程を知る。
- ・収穫をして、新鮮な状態の野菜を知る。
- ・収穫した野菜を味わう。

築山づくり

- ・いろいろな道具を使って土を運んで築山をつくる。
- ・土を足で踏んだり、手でたたいたりして、築山づくりをする中で、土の性質を知る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ウッドフェンスづくり

- ・「木がざらざらしている」「いいにおいがする」などの会話があった。
- ・ウッドフェンスを組み立てるためのネジとナットの仕組みに興味を持つ姿があった。
- ・完成したウッドフェンスで囲いを作り、家や動物園に見立ててごっこ遊びを楽しむ姿があった。

野菜の種まき、収穫

- ・「種ってこんなに小さいんだね」「にんじんの種は赤いんだね」などの会話があり、種に興味を持つ姿があった。
- ・ふたばが出始め野菜が生長するにつれて、野菜の観察をすることが増え、積極的に間引きや水やりなどする姿があった。
- ・かぶを収穫した時には、「おおきくない！」という声が上がった。絵本「おおきなかぶ」をイメージしていたようで、「本当はこのくらい大きさなんだね」という会話もあった。
- ・「自分たちで育てた野菜だから食べられるよ」と言って、普段はあまり食べない野菜を食べる姿があった。

築山づくり

- ・トラックで土が搬入される様子をわくわくした表情で見ている。
- ・トラックの荷台から土が流れる様子が印象的だったようで、砂場でその様子を再現。三輪車の後ろに砂を乗せて運ぶ係、三輪車を誘導する係など友だちと役割分担をして再現して遊んでいた。
- ・土を足で踏んだり、手でたたいたりして土を固めるときには、「土ってこんなにふわふわなんだね」「土の中に赤い土もあるよ」などの会話があった。
- ・土に強い力をかけると土が固まることや、土に水が混ざるとさらに固まることに気付く姿があった。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・身近にある自然をテーマにして、色々なかたちで活動を取り入れることで、楽しみながら活動を行うことができた。
- ・築山づくりでは、子どもたちで役割分担をして相談しながら作業を進めたり、全身を使って土を固めたり、楽しみながら活動する姿があった。自分たちでいちから作り上げるおもしろさを感じているようだった。
- ・土がトラックで運ばれてきた様子を再現して遊びを発展させていく姿が見られた。「築山づくり」という活動が新たなあそびに繋がっていく様子に、子どもたちのつくり出すあそびのおもしろさを感じた。今後も子どもたちのアイデアや興味関心を大切しながら、活動を進めていきたい。
- ・初めて野菜の種まきを経験する子もあり、種のかたちや色に興味を持つ姿があった。
- ・根菜類を育てるのは初めてだったので、収穫のときには、「土からどんな大きさやかたちの野菜が出てくるんだろう」と、わくわくする姿が見られた。
- ・絵本に出てくる野菜のイメージと大きさが違ったという声が子どもたちから上がり、本物を見たり触れたりすることの大切さを感じた。
- ・今後もさまざまな種類の野菜を育てることで、野菜の種類や育ちについて興味を深めたり、食への関心が持てたりできる活動を取り入れていきたい。